

平成 23 年度 事業 計画

- 1、事業推進委員会を軸として年間活動計画を推進する。
- 2、個人会員の増加、特に法人会員ならび若い会員の増加を願い、そのためのプログラムを具体的に企画するようにしたい。
- 3、年 10 回の月例会(7・8月を除く)を開催し、在日フィンランド人、フィンランド関係の業務や研究を行っている会員または会員以外の方々を講師として招聘し、フィンランドの政治経済、文学、歴史、音楽、美術、建築、スポーツその他出来る限り幅広くフィンランドを理解できるための学習を行う。
- 4、フィニッシュ・インスティテュートの創立会員としての責任並びにフィンランドセンターの事業について協力する。
- 5、フィニッシュ・インスティテュートから委託された「日本語・フィンランド辞書」の出版事業が著作物完成が遅れているため前年度に刊行できなかったことは、前年度の事業報告のとおりであるが、今年度内刊行に向けて鋭意作業を進める。
- 6、当協会のニュース、その他フィンランドの関係図書・文献の収集および整備、その活用を図る。
- 7、渡邊忠恕記念奨学金の授与者 1 名の選考を芬日協会に委嘱し、来春授与式を行う。
(ヘルシンキ、又は日本国内で)
- 8、フィンランド協会ニュースを年 4 回発行する。幅広く寄稿を求め内容の充実を図る。またホームページにより広報活動を充実させる。
- 9、関係団体との交流を深めるため、全国フィンランド友好団体協議会の開催時に会員が参加するような計画を立て、積極的な交流を図る。
- 10、日芬修交 85 年記念事業の継続事業として、フィンランド、ラヌアの日本の家に日本文化に関する図書整備に協力を行う。
- 11、会員有志によるカンテレ同好会・フィンランド語勉強会・フィンランド料理教室などの活動を支援する。
- 12、在京フィンランド留学生、国内各地のフィンランド協会、フィンランドにある日本関係の友好団体との交流を促進するために、ニュースの交換、情報の交換などを行い、活動の活性化を図る。
- 13、一般法人化の準備を始める。
- 14、「フィンランド・テーブル」「フィンランド・テーブル 2」、会員シンボルマークのピンバッチ、シールの紹介と普及を図る。